Ver. 4 テキスト

for the USCPA Exam

USCIPA

Managerial Accounting(MA)& Financial Management (FIN) Vol.1

FAR

Financial Accounting & Reporting

BEC

Business Environment & Concepts

REG

Regulation

AUD

Auditing & Attestation





<<テキストについてのご注意>>

このテキストは米国公認会計士試験を目指す日本人を対象として書かれたものです。 米国公認会計士試験は、すべて英語による試験ですが日本人が内容を理解するにあたっては、日本語の方が効果的であることは言うまでもありません。そのためテキストは、 米国の各種会計基準(U.S.GAAP等)を日本の企業会計基準委員会等が公表している実務 指針、監査基準等をもとに日本語で解釈しております。

日本語と英語は言語が異なる関係上、どうしても解釈に無理が発生してしまうことも ございますが日本の企業会計審議会が米国の各種会計基準を参考にしつつ日本の基準 を作成していることを考えますと、英語の解釈として企業会計審議会の解釈が一番妥当 であると考えられます。また、日本の会計基準を逸脱する表現はかえって日本の会計を 理解していらっしゃる方に誤解を与える可能性がございますし今後、米国公認会計士の 資格を活かして日本において業務をされる方が多い事を考えますと、日本の会計基準、 監査基準の用語にも慣れ親しんでいただく事も重要であると考えられます。

以上より英語で原文を解釈した場合、テキストの表現に違和感を覚えることもあるかもしれませんが、前述のとおり、本試験は英語で実施されますので最終的には、英語のままの状態で理解できるまで習熟を図ってください。

皆様がこのテキストを活用することによって合格を勝ち取られることを祈念しております。

TAC 米国公認会計士講座

U.S. CPA

Managerial Accounting & Financial Management Textbook

Contents

Vc	1.1		
0.	Int	roduction(はじめに) ······	1
_	_		
1.		oduct Costing(製品原価計算)	
	1.	Financial statement と Product costing	10
	2.	Cost の意義 ······	11
	3.	Fundamental processes	14
	4.	Cost Flows ····	23
	5.	Job-Costing System(個別原価計算)·····	34
	6.	Process-Costing System(総合原価計算) ······	53
2.	Co	st Allocation(原価配賦)	73
	1.	Cost Allocation to Department-in case of job costing	74
	2.	Cost Allocation to Department-in case of process costing	85
	3.	Activity-Based Costing(ABC、活動基準原価計算) ······	88
	4.	Joint Products and By-Products(連産品と副産物)	101
3.	Sta	andard Costing (標準原価計算)	113
	1.	Standard costing の意義 ·······	114
	2.	Standard costing の手続 ······	115

4.	Va	riable Costing(直接原価計算)	···· 133
	1.	Variable Costing(直接原価計算) ·······	134
	2.	Absorption Costing との比較······	143
	3.	Segment 別損益の計算······	151
5.		easurement of Cost Behavior(コストビヘイビアの測定) ·········	
	1.	Cost Behavior(コストビヘイビア)	···· 156
	2.	Measurement of Cost Behavior(コストビヘイビアの測定)	···· 160
6.		/P Analysis(CVP 分析)	
		利益計画と CVP Analysis(CVP 分析)の基本公式 ·······	
	2.	CVP Analysis(CVP 分析) ···································	···· 180
7.	Bu	idgeting System(予算管理システム)	199
	1.	Budgeting system(予算管理システム) ····································	200
	2.	Budget planning(予算編成)······	202
	3.	Budgetary control(予算統制) ····································	222
8.	Pe	rformance Management(業績管理)	233
	1.	Responsibility Centers(責任センター)	234
	2.	Financial Performance Measures(財務業績尺度)······	240
	3.	Nonfinancial Performance Measures(非財務業績尺度) ····································	258
	4.	Incentive Compensation(インセンティブ報酬) ······	···· 266
9.	Pr	ocess Management(プロセス・マネジメント)	271
	1.	Overview	272
	2.	Shared Service, Outsourcing, Off-shore Operations	275
	3.	Management Philosophies and Techniques for Performance Improvement ···········	···· 280
	索	引	···· 299
	単·	位認定試験について	304

Introduction (はじめに)

(1) Managerial Accounting

① Managerial Accounting(management accounting 管理会計,MA)の意義

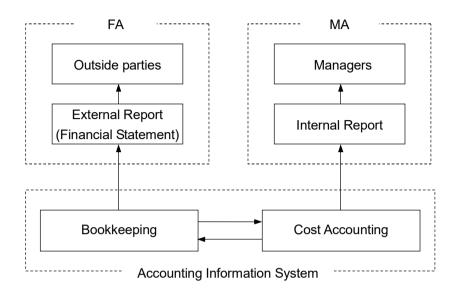
Managerial accounting: 組織内部の manager (経営管理者) に会計情報を提供する ための会計。

Financial accounting (財務会計、FA) との根本的な違いは『誰に対して会計情報を提供するか』という点にある。以下に、両者の相違をまとめておく。

	FA	MA
	Outside parties	Organizational managers
Primary users	株主の投資決定や債権者の貸付	経営管理者が行う経営管理活動
	に関する決定に用いられる	を支援する
	GAAP	No constraints
Freedom of choice	不特定多数の外部者の目に触れ	内部者しか目にしない情報なの
1 recubili of choice	る情報なので社会的なルールに	で社会的なルールで規制する必
	基づいて作成する必要あり	要がない
	Past orientation	Future orientation
Time focus	過去一年間に稼ぎ出した利益、	過去の実績も重要であるが、ど
Time rocus	これまでに蓄積してきた財産を	ちらかといえば将来どうなるか
	報告する	(どうすべきか) に関心がある
	Less flexible	Flexible
Time span	一定期間(四半期・一年)毎の	会社が自由に決めればよい
	報告が求められる	! ! !
	Summary reports	Detailed reports
Reports	会社全体の利益・財産について	製品別・地域別・顧客別など詳
	報告する	細な単位について報告する

② Accounting Information System (会計情報システム)

会計データを処理する accounting information system は、bookkeeping (簿記) と cost accounting (原価計算) からなる。



③ FA ≥ Cost Accounting

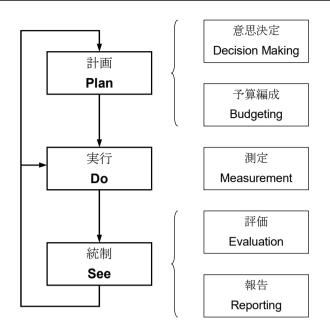
製造企業が financial statement を作成するにあたり、cost accounting が必要となる。 具体的な内容は、第1章、第2章で取り上げる。

4 MA & Cost Accounting

MA における cost accounting の役割を、企業がその目標を達成するために行っている管理活動の流れ(management process 経営管理過程¹)に沿って概観しておく。

_

Management process は、Plan(計画) -Do(実行) -See(統制)や Plan(計画) -Do(実行) -Check(比較) - Action(是正行動)というプロセス (PDCA サイクル) で紹介されることが多い。
 また、経営管理に必要な会計情報を作成し、経営管理者に提供する職位を Controller という。



まず manager は、様々な問題を解決するために種々の意思決定を行う。例えば、生産能力の不足を解消するために設備を購入すべきか否か、利益を最大化するためにはどの製品の販売に注力すべきかといった問題に対して、自らの意思を決定する必要がある。意思決定に際しては、経験や勘だけに頼るのではなくデータに基づいて合理的に行う必要がある。Accounting information system には manager の意思決定を支援するという役割があり、詳細は第11章・第12章で取り上げる。

次に manager は、budget (予算) という管理ツールを用いて企業活動を計画し統制 する。

予算編成に先だって、目標利益を獲得するのに必要な販売量等を大まかに検討する。 この検討には「売上高が○○円のとき、原価が××円になる」という予測が不可欠で、 variable costing(直接原価計算、第4章)を基礎としたCVP分析(第6章)というツ ールが用いられる。また、こうした検討には、原価を変動費と固定費に分けておくこと が有用となるので、変動費・固定費の区分について第5章で取り上げる。 予算が編成されると、予算に示された目標の達成を目指して、実際に業務執行がなされる。業務が執行されれば、それにともなって売上高がいくら獲得できたか、原価がいくら発生したかという、実績情報の収集・計算・記録が accounting information system によって行われる。実績情報が得られると、予算(目標)との対比から目標との差異(ズレ)が把握される。差異の発生原因を究明し、改善することで企業業績の向上につなげていくことができる。このような、実績情報の収集・計算・記録から差異情報の提供といった一連のプロセスについても accounting information system が情報を提供する。以上の内容は、第7章で詳しく紹介する。なお、製造原価の管理に関しては、standard costing(標準原価計算)と呼ばれるツールが用いられ、これについては第3章で紹介する。

最後に、実績情報や差異情報は、次の予算編成にフィードバックされ、予算管理プロセスは終結する。

また、予算を用いた管理プロセスは、事業部、工場、営業所、部、課といった企業組織の管理単位と結びつけて行われるのが通常で、各組織単位の管理者(事業部長、工場長、営業所長、部長、課長)は、自らの組織単位に割り当てられた予算(目標)を達成すべく業務を執行する。したがって、各組織単位自体の業績、さらには、管理者自身の業績を測定・評価することが必要になる。今日、日本でも成果主義という言葉が頻繁に耳にするが、このような業績に関する情報は報酬とも関連を持っている。業績管理システムについては第8章で詳しく紹介する。

さらに最近では、組織単位に着目した伝統的な管理のみならず、組織横断的に実行されるプロセスの管理(第9章)や、プロジェクトの管理(第10章)が注目を集めており、これらも本書の中で取り上げる。

Accounting information system に対して財務会計情報と管理会計情報の提供が求められていることは理解できたであろうか。管理会計情報の作成において、cost accounting が具体的にどのような情報を作成すれば良いのかを考えていくのが、このテキストの大きなテーマの1つとなる。

最後に、accounting information system が提供する情報を分類してみる。この分類は相互に重複する部分もあるが、会計情報全体を理解する上での一助になるであろう。

A. 実績記録情報

実績記録(scorekeeping)情報は、経営活動の現状を知り、その業績を判断するために不可欠な情報である。この情報は、財務会計情報と管理会計情報の基礎となる情報で、特に公表用財務諸表は、実績記録情報から作成される。

B. 注意喚起情報

注意喚起(attention directing)情報とは、予算(目標)と実績を比較し、差異を明らかにし、経営者の注意を喚起するための情報である。したがって、この情報には、前述の実績記録情報が必要となる。注意喚起情報は、予算管理プロセスにおいて必要となる。

C. 問題解決情報

問題解決(problem-solving)情報とは、将来採りうる代替的コースの選択において、どの案が最善かを決める上で役に立つ情報である。実績記録情報と注意喚起情報は、企業の経営管理上、常に必要となる情報であるが、この問題解決情報は、問題に直面したときに必要となる情報である。

(2) Financial Management

Financial Management (財務管理): financing (資金の調達) と investment (資金の投資・運用) を統合的に管理すること²。

資金の調達・運用は、長期か短期かという観点から2つのタイプに分類される。

① 長期の調達と運用(投資)

Fixed assets に投資された資金は、depreciation の計上を通じてゆっくりと(数年間かけて)回収される。こうした長期の運用には、長期間返済不要な資金調達手段である long-term debt(長期債務)や返済不要な資金調達手段である stockholders' equity(株主資本)によって調達された資金を用いるのが一般的である。

Fixed assets のような長期の資金運用については第12章で、それに対する長期の資金調達については第13章で紹介する。

② 短期の調達と運用

Inventory や account receivable といった current assets に投資された資金は、短い期間で回収される。こうした短期の運用には、current liabilities のような短期的な資金調達手段が用いられるのが一般的である。

Current assets と current liabilities を working capital (運転資本) と呼ぶが、短期の調達と運用の管理は working capital management (運転資本管理) として第14章で紹介する。

なお、以上のように、長期の investment は長期の finance で賄い、短期の investment は短期の finance で賄うことを maturity matching (満期のマッチング) という。

-

² 財務管理上の問題を扱う職位を Treasurer という。

基本問題1

- (1) Which of the following topics is the focus of managerial accounting?
 - a. Financial statements and other financial reports.
 - b. Historical cost principles.
 - c. The needs of creditors.
 - d. The needs of the organization's internal parties.

【解答と解説】

(1) **(d)** Choice "d" is correct. Managerial accounting focuses on the needs of internal users (managers) and on data relevant for decision making.

Managerial accounting が焦点をあてるトピックとして正しいものを問う問題です。

Managerial accounting は、組織の内部者(manager)が経営管理を行う上で必要となる情報を提供しようとする会計ですから、当然、manager の情報ニーズに強い関心を持ちます(誰も関心を持たない情報、関心を抱く必要のない情報を作成しても意味がありません)。

Financial statement や他の financial reports に焦点をあてるのは、financial accounting です (a.は誤り)。 Financial accounting は investors や creditors に対して会計情報を提供することを目的としています (c.は誤り)。

Manager は、自らの意思決定や行動が将来の costs や income にどのような影響を与えるかに関心をもつので、managerial accounting も将来の costs や income に関心を持ちますが、financial accounting は実際に発生した costs や実際に得られた income など、過去の実績に関心を持ちます(b.は誤り)。

[本問は Becker にある問題です。]

Managerial Accounting & Financial Management

1. Product Costing (製品原価計算)

Objectives

多くの企業はコストを計算するために、公式の計算システムとして原価計算システムを有している。原価計算システムにおいては、収集や配賦といった複雑なプロセスを経て、部門のコスト、あるいは製品のコストというように、何らかの対象についてコストを計算する。製品のコストを計算する方法として、個別原価計算と総合原価計算について学習する。

Key Topics

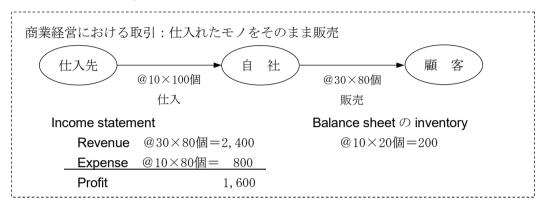
- 1. Financial statement \succeq product costing
- 2. Cost の意義と分類
- 3. Fundamental processes
- 4. Cost Flows
- 5. Job-Costing System (個別原価計算)
- 6. Process-Costing System (総合原価計算)

1. Financial statement と Product costing

本章と次章では、工業経営(製造業等)を営む企業が financial statement 作成のために行う cost accounting を紹介する。

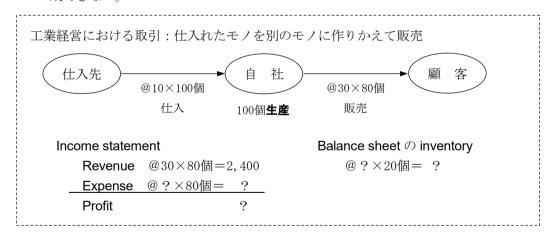
商業経営1(小売業·卸売業等)

→ Cost accounting を行うことなく、financial statement を作成できる。



工業経営2(製造業等)

→ Cost accounting によって unit cost of product (製品単位原価。Product 1units を作るのにかかった costs。下図の@?) を計算しないと正確な financial statement を作成できない。



工業経営を営む企業が、financial statement 作成のために行う cost accounting のことを、 特に product costing (製品原価計算) という。

-

¹ 商業経営を営む企業を Merchandising company という。

² 工業経営を営む企業を Manufacturing company という。

2. Cost の意義と分類

(1) Costs の意義

経営活動①において消費された資源②を、貨幣支出額に基づいて測定③したもの。

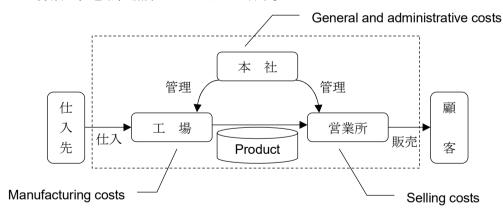
- ①生産(製造)、販売、一般管理の3つの活動を指す。
- ②資源(Resource。物品・労働・その他)を消費したとき costs が発生する。
- ③Costs は、資源を取得する際に支払った貨幣支出額(cost of goods purchased 購入原価)に基づいて計算する。

(2) Classifications of costs (コストの分類)

どの経営活動(生産、販売、一般管理)に伴って発生したかで次のように分類する3。

- ① Manufacturing costs (製造原価)生産活動に要した costs。Factory costs (工場原価) ともいう。
- ② Selling costs (=selling expenses、販売費) 販売活動に要した costs。
- ③ General and administrative costs (=G&A expenses、一般管理費) 一般管理活動に要した costs。

この分類は、通常、場所にかかわらせて行う。



Unit cost of product は、product に manufacturing costs を集計して計算する。他方、selling costs と general and administrative costs は product に集計しない。

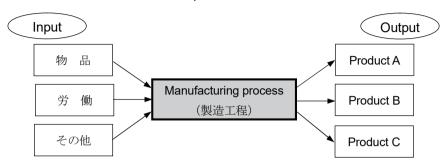
-

³ ①~③の costs を総称して total costs (総原価) ということがある。

(3) Classifications of manufacturing costs (製造原価の分類)

Unit costs を適切に計算するため、manufacturing costs をさらに分類する。

工場にあって product を製造しているところを manufacturing process (製造工程) といい、様々な資源を投入 (消費) し、product を産み出している。



なお、input を output に変換することを conversion (加工) という。

分類 1: どの resource (物品・労働・その他) を消費したか

- A. Materials / Material costs (材料費) 物品を消費したことで発生する costs。原料費、部品費など。
- B. Labor costs (労務費) 労働を消費したことで発生する costs。工員の賃金、賞与など。
- C. Expenses (経費) 上記以外の資源を消費したことで発生する costs⁴。減価償却費、電力料など。

分類 2:特定の product に対して(容易に)跡付けることができるかどうか

- a. Direct costs (直接費) ある特定の product に対して、いくらかかったかを把握できる costs。
- b. Indirect costs (間接費) ある特定の product に対して、いくらかかったかを把握できない costs。

⁴ 英語表記は expenses だが、ここでは「費用」という意味ではない。

以上の分類を組み合わせると、manufacturing costs は次の6つに分類される。

	Direct costs	Indirect costs		
Direct materials		Indirect materials		
Materials	例 raw materials(原料費)	例 supplies (消耗品費)		
Direct labor costs		Indirect labor costs		
Labor costs	例 工員に支払う wages(賃金)	例 supervisory salaries		
		(監督者給与)		
Direct expenses		Indirect expenses		
Evnoncos	例 試験では direct expenses は無	例 property taxes(固定資産税)、		
Expenses	いという設定で出題される	rent(賃借料)、insurance(保険		
	め、省略。	料)、depreciation(減価償却費)		

Indirect materials、indirect labor costs、indirect expenses の合計を、factory overhead(factory burden)という。

	Direct costs	Indirect costs
Materials	Direct materials	footowa arranka a d
Labor costs	Direct labor	factory overhead
Expenses		(factory burden)

Direct materials と direct labor の合計を prime costs (素価)、 direct labor と factory overhead の合計を conversion costs (加工費) という。

Prime Costs



Conversion Costs

3. Fundamental processes (基本的なプロセス)

Product costing の基本的な計算手続を見ていく。

(1) 計算期間

Product の costs を早く知りたいというニーズがあるため、通常は1ヶ月ごとに行う。

(2) 計算手順

Unit cost of product は、次の3つのステップを経て計算される。

ステップ 1: Cost accumulation(原価収集、費目別計算)

1ヶ月間の manufacturing costs を把握する。

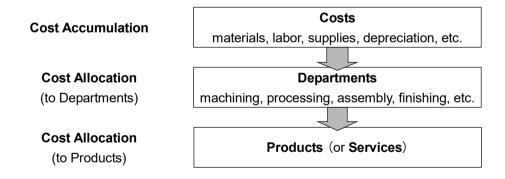
ステップ2: Cost allocation to departments (部門への原価配賦、部門別計算)

1ヶ月間の manufacturing costs を departments(部門)ごとに集計す

る。

ステップ3:Cost allocation to products(製品への原価配賦、製品別計算) Manufacturing costs を product に集計して unit cost of product を求め

る。



(3) Cost objective

Costs を集計する対象を cost objective (cost object: 原価計算対象) といい、例えば、products (製品)、services (サービス)、departments (部門) などがある⁵。

1 Product

Unit cost of product は、product に manufacturing costs を集計することで計算されるので、product は cost objective である。

② Service

近年、サービス業でも cost accounting が利用されるようになってきており、その場合には services が cost objective として選択される。ただし、サービス業における cost accounting は、試験における重要性が低いので、具体的な内容には触れない。

3 Department

ステップ 2 (部門別計算) では、department ごとに costs が集計されるので、department も cost objective となる。ただし、小規模な工場では計算を簡単にするためにステップ 2 を省略することがあり、本章でもステップ 2 を省略して話を進める。

⁵ Cost の集計対象となるものはすべて cost objective と呼ばれ、この他にも activity (第2章) product lines、customers、sales territories、channels of distribution、division といった各種の segment (第4章)、個々の project (第10章、第11章、第12章) といったものが含まれる。

Example 1-1

当社では製品Aを生産・販売している。以下に示した当期(20XX 年12月 1 日~12月31日)のデータに基づいて、以下の問に答えなさい。

1. 生産・販売データ

Total units manufactured (完成量) 1,000個
Total units sold (販売量) 800個

(期末の時点で、200個の product が手許に在庫として残っている。)

なお、当期の販売価格は@\$2,500であった。

2. 製造原価データ

① Direct materials (直接材料費)

材料 a 15,000kg を\$750,000 (@\$50) で購入し、そのうち12,000kg を消費した。

Direct materials purchased \$750,000

Direct materials used ?

② Direct labor costs (直接労務費)

工員の賃金は時間給で支払っている (labor rate (賃率) @ \$10)。当期の作業時間は40,000時間であり、\$400,000を支払った。

③ Factory overhead (製造間接費)

 Indirect materials
 \$250,000

 Indirect labor
 150,000

 Indirect expenses
 100,000

 Total
 \$500,000

3. 販売費および一般管理費データ

Selling expense : \$200,000General and administrative expense : \$360,000

問1 製品Aの unit cost of product (製品単位原価) はいくらですか。

問2 当期の income statement を作成しなさい。また、product および materials の ending balance を求めなさい。

= \$1,500/個

問 1 Unit cost of product (製品単位原価)の計算

(1) Cost accumulation (費目別計算)

Direct materials \$600,000 ←@\$50×消費量12,000kg

Direct labor costs 400, 000
Factory overhead 500, 000
Manufacturing costs \$1, 500, 000

(2) Unit cost of product (製品単位原価)

Unit cost of product : Cost of goods manufactured \$1,500,000

Total units manufactured 1,000個

問2 Income statement および balance sheet の作成

Income Statement (の一部)

 Sales
 (販売価格@\$2,500×販売量800個=)
 \$ 2,000,000

 Cost of goods sold
 (単位原価@\$1,500×販売量800個=)
 1,200,000

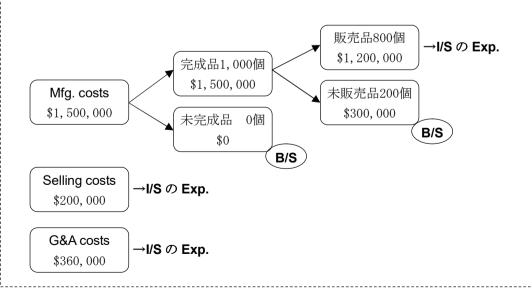
 Gross margin
 800,000

 Selling, general and administrative expenses
 (\$200,000+\$360,000=)
 560,000

 Operating income
 \$ 240,000

Balance sheet (の一部)

Product \mathcal{O} ending balance \$300,000 (=単位原価@\$1,500×月末在庫量200個) Materials \mathcal{O} ending balance \$150,000 (=材料価格@\$50×月末材料3,000kg)



(4) Product costs vs period costs (製品原価と期間原価)

Product costs (製品原価) ⁶: product に集計し、販売された product に対応する金額だけを expenses とする costs

Period costs (期間原価) 7: product に集計せずにその期の expenses とする costs

Example 1 - 1 において、manufacturing costs と selling,general and administrative costs で異なる扱いをしている点に注意して欲しい 8 。

Manufacturing costs は、生産した product に集計された後、販売した product の分だけを expenses として処理している (product costs として扱っている)。

具体的には、当期に1,000個生産したが、販売したのは800個だけで、残りの200個は在庫として次期に繰り越されている。そこで manufacturing costs も、当期に販売した800個分だけを cost of goods sold として費用計上し、売れ残った200個分は inventory として資産計上する(次期に繰り越した manufacturing costs は、次期以降、販売したときに cost of goods sold とする)。

これに対して、selling, general and administrative costs は当期に発生した分をそのまま 当期の expenses として処理している (periood costs として扱っている)。

例えば advertising costs がかかったとして、その広告宣伝によって、当期にどれだけ sales が増え、そして次期にどれだけ sales が増えるのかを具体的に把握することはできない。そこで、S,G&A については、すべて当期の sales の獲得に役立ったものとみなし、全額を当期の expenses とする。

Product costs と period costs の区別は、公表用 financial statements (特に income statement) の作成にあたって重要となる。

	Manufacturing costs	Product costs
Total costs	Selling,general and administrative costs (Non-manufacturing costs)	Period costs

⁶ Product costs are all costs related to the manufacturing of the product. Product costs are inventoriable (i.e., considered as assets before the product is sold).

_

⁷ Period costs are expensed in the period in which they are incurred and are **not** inventoriable.

Manufacturing costs are specifically capitalized to the cost of the manufactured product, according to various available and appropriate methods. Non-manufacturing costs (e.g., selling general and administrative expenses) are expensed in the period incurred.

[MEMO]

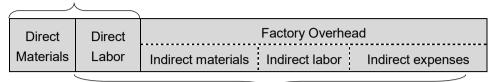
基本問題1

- (1) Which of the following types of costs are prime costs?
 - a. Direct materials and direct labor.
 - b. Direct materials and overhead.
 - c. Direct labor and overhead.
 - d. Direct materials, direct labor, and overhead.
- (2) Conversion costs do **not** include:
 - a. Direct materials.
 - b. Indirect labor.
 - c. Indirect materials.
 - d. Direct labor.
- (3) Which of the following is assigned to goods that were either purchased or manufactured for resale?
 - a. Relevant cost.
 - b. Period cost.
 - c. Opportunity cost.
 - d. Product cost.
- (4) Which one of the following best describes direct labor?
 - a. Relevant cost.
 - b. Period cost.
 - c. Opportunity cost.
 - d. Product cost.

【解答と解説】

(1) **(a)** Direct material と direct labor の合計を prime costs といいます。

Prime Costs



Conversion Costs

- (2) (a) Direct materials は conversion costs に含まれません。
- (3) **(d)** 「(再)販売するために購入ないし製造された goods に集計される costs」は product costs です。

なお、relevant costs と opportunity costs は第11章で紹介します。

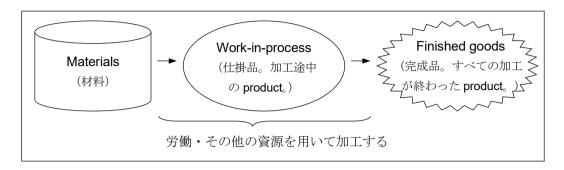
- (4) **(d)** Direct labor は manufacturing costs であるため、product costs として処理されます (product に集計され、販売された product に対応する金額だけが当期の expense として処理されます。)。
 - [(1)~(4)は Becker にある問題です。]

[MEMO]

4. Cost Flows (コストフロー)

(1) 物の流れと cost flows

Manufacturing process (製造工程) では、材料を投入し、労働・その他の資源を用いてこれを conversion (加工) することで product を生産している。



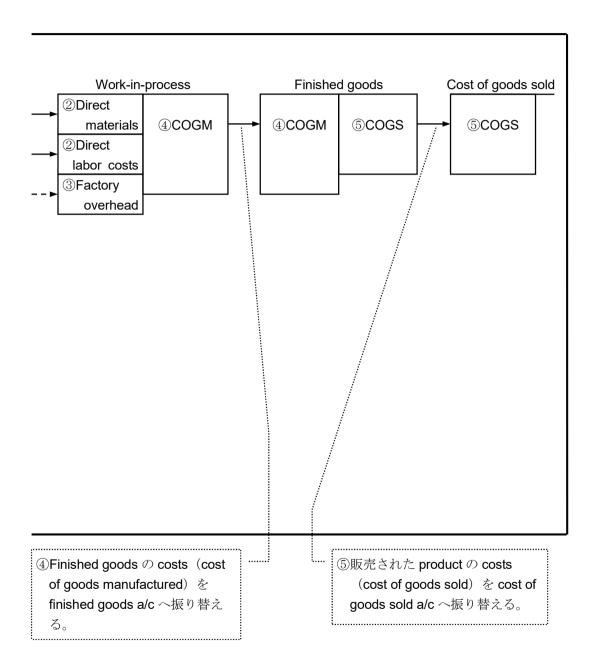
製造業では、この物の流れに対応するように account を設定し、記入を行う 9 。各 account 間の cost flows(原価の流れ)は次のとおり。

⁹ Accounts in the cost flows reflect manufacturing and marketing activities in the real world. Inputs to manufacturing activities are expressed by accounts such as materials inventory, accrued payroll and factory overhead control. Outputs from manufacturing activities are collected into the work in process account. A part of marketing activities is expressed by the cost of goods sold account.

②資源の消費額 (costs) を各 account の credit に記入し、direct costs は work-inprocess a/c へ、indirect costs は、 factory overhead a/c へ振り替える。 Materials ①購入額 ②消費額 Wages expense ①支払額 ②消費額 Factory overhead (overhead control)¹⁰ ②Indirect (各種) Expenses materials ③Factoy ②Indirect overhead ①支払額 ②消費額 labor costs の合計 (計算額) ②Indirect expense ③Factory overhead の合計額 ①資源(物品、労働、その他)の取得額 を work-in-process a/c へ (cost of goods purchased) を各 振り替える。 account の debit に記入する。

24

¹⁰ Factory overhead a/c は、overhead を集計するための勘定(control account)であるため、overhead control a/c とも呼ぶ。



なお、ここで示した記入方法は最も基本的な方法の1つであり、実際には様々なバリエーションが存在するが、それらは各テーマの中で順次紹介していく。

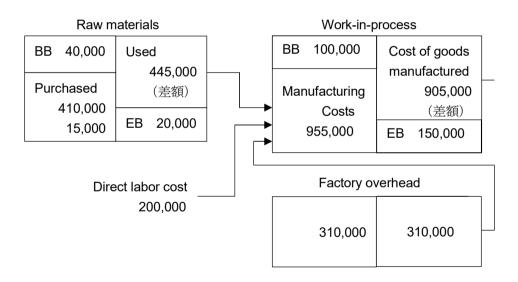
Example 1-2

以下の資料をもとに、account (一部) への記入を行い、financial statement (一部) を作成しなさい。

Manufacturing costs に関する資料は、次のとおりであったとする。

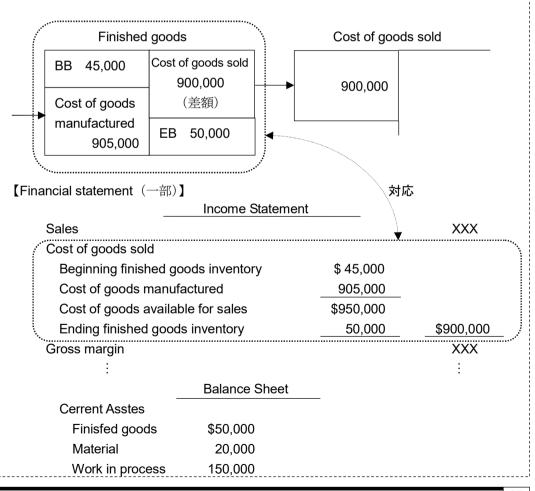
Beginning raw materials inventory	\$ 40,000
Ending raw materials inventory	20,000
Raw material purchased	410,000
Freight-in	15,000
Direct labor payroll	200,000
Factory overhead	310,000

【Account (一部)】



また、work in process と finished goods の残高は、次のとおりであったとする。

Beginning work in process inventory	\$100,000
Ending work in process inventory	150, 000
Beginning finished goods inventory	45,000
Ending Finished goods inventory	50,000



Example 1 - 3

次に示す当期の取引をもとに、account への記入を行いなさい。なお inventory の beginning balance および ending balance はないものとする。

- ① 製品Aの主たる材料 a15,000kgを\$750,000 (@\$50) で購入した (on account)。
- ② 材料 a (direct materials) を12,000kg消費した。
- ③ Supplies expense (indirect materials) \$16,000を現金で支払った。
- ④ 工員の賃金 (direct labor) \$400,000が発生したが、未払いとなっている。
- ⑤ Supervisory salaries (indirect labor) \$150,000を小切手を振り出して支払った。
- ⑥ 当期分の utilities expense (indirect expense) \$54,000を現金で支払った。
- ⑦ 工場設備の depreciation expense (indirect expense) \$200,000を計上する。
- ⑧ Insurance expense (indirect expense) \$80,000を現金で支払った。
- 9 製品1,000個が完成し、製品倉庫に納めた。
- ⑩ 製品800個を販売価格@\$2,500で掛け売りした。

まず、journal entries を示しておく。

① (Dr.) Materials	750,000
(Cr.) Accounts payable	750,000
② (Dr.) Work-in-process	600,000
(Cr.) Materials	600,000
③ (Dr.) Materials	16,000
(Cr.) Cash	16,000
(Dr.) Factory overhead	16,000
(Cr.) Materials	16,000

材料倉庫に対応して materials (材料) a/c を設けます。材料を購入したときは、materials a/c の debit に記入する (①)。材料を消費したときは、materials a/c の credit に記入する。このとき、direct materials (材料 a の原価) は work-in-process a/c へ直接振り替える (②)。他方、indirect materials はいったん factory overhead a/c (overhead control a/c) へ振り替える (③)。

4	(Dr.) Wages expense	400,000	
	(Cr.) Wages payable (accrued payroll)		400,000
	(Dr.) Work-in-process	400,000	
	(Cr.) Wages expense		400,000
5	(Dr.) Wages expense	150,000	
	(Cr.) Cash		150,000
	(Dr.) Factory overhead	150,000	
	(Cr.) Wages expense		150,000

Wages expense を計上する。このとき、direct labor は work-in-process a/c へ直接 振り替える (④)。他方、indirect labor は factory overhead a/c へ振り替える (⑤)。

⑥ (Dr.) Utilities expense	54,000
(Cr.) Cash	54,000
(Dr.) Factory overhead	54,000
(Cr.) Utilities expense	54,000
⑦ (Dr.) Depreciation expense	200,000
(Cr.) Accumulated depreciation	200,000
(Dr.) Factory overhead	200,000
(Cr.) Depreciation expense	200,000
(Dr.) Insurance expense	80,000
(Cr.) Cash	80,000
(Dr.) Factory overhead	80,000
(Cr.) Insurance expense	80,000

※ (Dr.) Work-in-process	500,000
(Cr.) Factory overhead	500,000

Factory overhead a/c へ振り替えた indirect costs はまとめて work-in-process a/c へ振り替える。

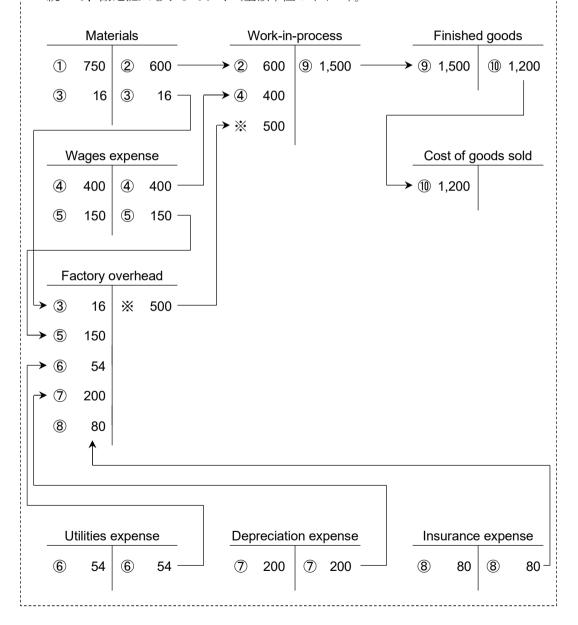
(Dr.) Finished goods	1,500,000
(Cr.) Work-in-process	1,500,000

製品が完成したら、完成品の原価を計算し、work-in-process a/c から finished goods a/c 〜振り替える。

(Dr.) Accounts receivable 2,000,000
(Cr.) Sales 2,000,000
(Dr.) Cost of goods sold 1,200,000
(Cr.) Finished goods 1,200,000

製品を販売したら、sales を計上する。同時に、cost of goods sold を計算して、finished goods a/c から cost of goods sold a/c へ振り替える。

続いて、勘定記入も示しておく(金額単位:千ドル)。



[MEMO]

基本問題2

(1) The following information was extracted from the accounting records of Taft Manufacturing Company:

Direct materials purchased	\$90,000
Direct materials used	86,000
Direct manufacturing labor costs	20,000
Indirect manufacturing labor costs	22,000
Sales salaries	14,000
Other factory expenses	32,000
Selling and administrative expenses	20,000

What was the cost of goods manufactured?

- a. 128,000
- b. 160,000
- c. 164,000
- d. 198,000
- (2) Based on the following data, what is the gross profit for the company?

Sales	\$1,000,000
Net purchases of raw materials	600,000
Cost of goods manufactured	800,000

Marketing and

administrative expenses 250,000 Indirect manufacturing costs 500,000

	Beginning Inventory	Ending Inventory
Work in process	\$500,000	\$400,000
Finished goods	\$100,000	\$500,000

- a. \$200,000
- b. \$400,000
- c. \$600,000
- d. \$900,000

【解答と解説】

(1) **(b)** Work-in-process に関する資料がないので work-in-process は存在しないとみなします。この場合、manufacturing costs と cost of goods manufactured は等しくなるので、manufacturing costs を計算します。

Direct materials used \$ 86,000

Direct manufacturing labor costs 20,000

Indirect manufacturing labor costs 22,000

Other factory expenses 32,000

\$ 160,000

(2) (c) まず、Cost of goods sold は\$400,000となります。

Finished goods				
Beginning	Cost of goods			
\$100,000	Sold			
Cost of goods manufactured	<u>\$400,000</u> (差額)			
\$800,000	Ending \$500,000			
	, ,			

※ 上図から明らかなように、Work-in-process a/c に関する金額の把握は解答を 求めるうえで必要ありません。

Sales\$1,000,000から、cost of goods sold\$400,000を差し引いて、gross profit は **\$600,000**となります。

Sales \$1.000.000

Beginning finished

goods inventory \$100,000

Cost of goods manufactured 800,000

Less: Ending finished

goods inventory (500,000)

 Cost of goods sold
 400,000

 Gross profit
 \$ 600,000

[(1)と(2)は Becker にある問題です。]

5. Job Costing (Job-order costing、個別原価計算)

(1) 適用

顧客の注文に応じて仕様の異なる product を生産する場合(受注生産販売形態) 11。

例)建設業、印刷業、造船業など。

(2) Job Costing の方法

顧客から注文を受けると、job order(製造指図書)が発行される。これは製造現場に対する製造命令書であり、job costing では、job order ごとに costs を集計する¹²。その際、direct costs と factory overhead(indirect costs)では集計方法が異なる。

Example 1-4

1. Direct costs の集計

Direct costs は、どの job order にいくらかかったかを明確に把握できるので、各 job order の costs としてそのまま集計する(tracing 賦課、direct charge 直課)。

資料 1. Direct materials	価	格	@\$600			
	消費	量量	#101	#102	#103	計
			450kg	220kg	350kg	1,020kg
資料 2. Direct labor	賃	率	@\$20			
	作業時	寺間	#101	#102	#103	計
			12,000	5,000	10,000	27, 000
			hours	hours	hours	hours

	#101	#102	#103	Totals
Direct materials	* 1) 270, 000	132, 000	210,000	612, 000
Direct labor costs	* 2) 240, 000	100,000	200, 000	540,000
Factory overhead				
Totals				
*1) 価格@\$600 ×	(#101の消 費 量	450kg = \$270	, 000	
*2) 賃率@\$20×	(#101の作業時間	12,000時間 =	\$240,000	

Job-order costing (or job costing) is a method of allocating costs to unique products. Industries that commonly use job-order costing include construction, printing, aircraft, furniture, special purpose machinery and any manufacture of unique goods.

2. Factory overhead の集計

Factory overhead (Indirect costs) は、どの job order にいくらかかったかを明確に 把握できない (全ての job order に共通して発生している) ので、何らかの値を基準 として各 job order に割り当てる (application、allocation 配賦)。

資料3. Factory overhead

 Indirect materials
 \$168,000

 Indirect labor
 \$248,000

 Indirect expenses
 \$475,000

 Total
 \$891,000

なお、factory overhead は direct labor hour を基準に application する。

	#101	#102	#103	Totals
Direct materials	270,000	132,000	210, 000	612, 000
Direct labor costs	240,000	100,000	200, 000	540,000
Factory overhead	₃₎ 396, 000	165,000	330, 000	891, 000
Totals	906, 000	397,000	740, 000	2, 043, 000

*3 $\frac{\text{Factory overhead}}{\text{direct labor hour } \mathcal{O}$ 合計 27,000時間 *33

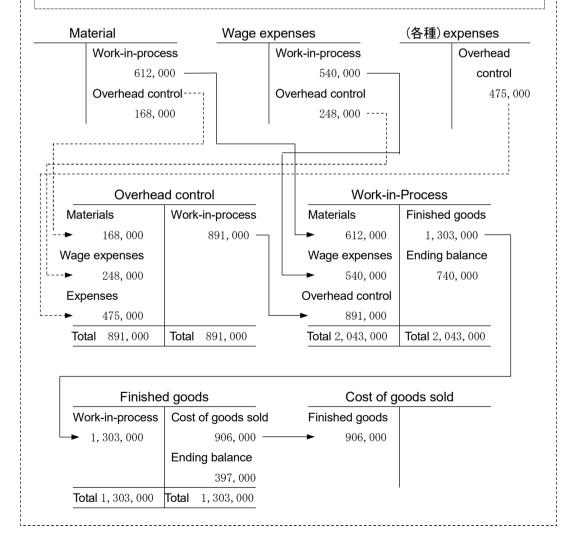
¹² Job order costing applies costs to specific **job orders**.

3. Account の記入

Job order ごとに costs を集計したら、その結果をもとに account へ記入する。

∫ 下表の横合計:work-in-process a/c の debit の記入内容と一致。 │ 下表の縦合計:work-in-process a/c の creditt の記入内容と一致。

資料4. 各 job order の生産状況 #101 #102 #103 Totals 132,000 612,000 Direct materials 270,000 210,000 Direct labor costs 240,000 100,000 200,000 540,000 Factory overhead 396,000 165,000 330,000 891,000 397,000 Totals 906,000 740,000 2,043,000 完成品在庫 生産状況 販売済み 製造途中



<参考1-1> Job costing の考え方

受注生産販売形態では、注文1口につき1枚の job order が発行される。Job order には受注番号が記載され、注文と job order はこの番号によって紐付きとなっている。

顧客の注文に応じて仕様の異なる product を生産している場合、product はすべてオーダーメイドであり、注文の内容によってその unit cost of product は異なるはずである。そこで注文ごとに costs を集計する。ただし、実際の手続き上は、注文と紐付きになっている job order ごとに集計することになる。

Example 1-5

Example 1 - 4で示した会社の翌月におけるデータが次のとおりであったとして、**Account** の記入を示しなさい。

1. 生産・販売状況

Job order	製品名	数量	備考
#102	B製品	100個	前月完成。当月販売済み。
#103	C製品	200個	前月生産着手。当月完成・販売済み。
#201	D製品	150個	当月生産着手。当月完成・販売済み。
#202	E製品	100個	当月生産着手。当月完成・未販売。
#203	F製品	200個	当月生産着手。当月末において製造途中。

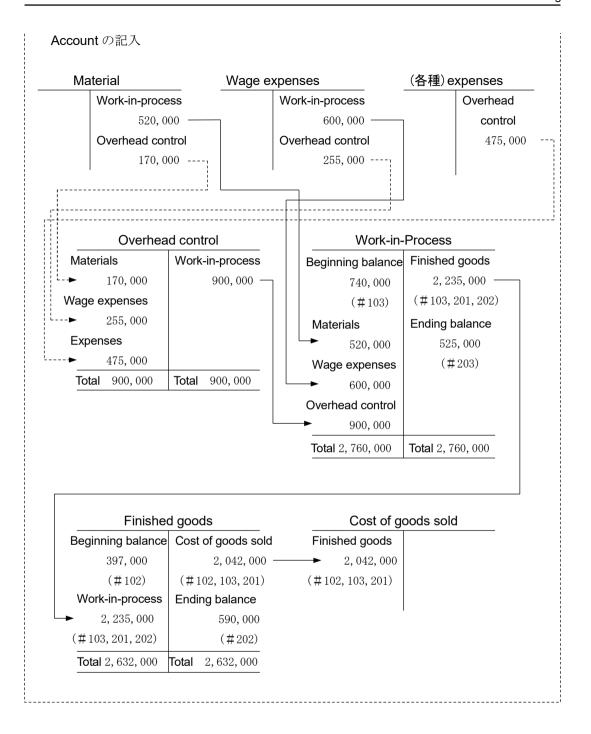
注) Job order #102に対して、前月集計された costs は\$397,000であった。

2. 計算結果の要約

	#103	#201	#202	#203	Total
Beginning balance	\$740,000	l	l		\$740,000
Direct materials	30,000	\$200,000	\$140,000	\$150,000	520, 000
Direct labor costs	50,000	220,000	180,000	150,000	600,000
Factory overhead	75, 000	330,000	270,000	225, 000	900, 000
Total	\$895,000	\$750,000	\$590,000	\$525,000	\$2,760,000

注)Factory overhead の内訳は、以下のとおりである。

 $\begin{array}{lll} \mbox{Indirect materials} & \$170,000 \\ \mbox{Indirect labor costs} & 255,000 \\ \mbox{Indirect expenses} & \underline{475,000} \\ \mbox{Total} & \underline{\$900,000} \\ \end{array}$



(3) Application base (配賦基準)

Factory overhead の計算では、何を基準に application (allocation) を行うかを決める 必要がある。これを application base (allocation base、配賦基準) という。

Application base の例は、以下のとおり。

数量基準 - 製品生産量、製品重量など

金額基準 — direct materials (直接材料費)、direct labor costs (直接労務費)、

prime cost (素価) など

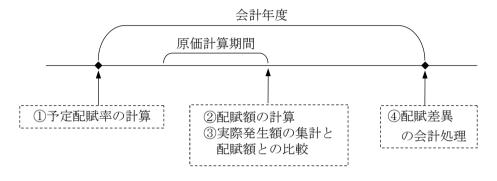
時間基準 - direct labor hours (直接作業時間)、machine hours (機械作業時間) など

なお、工場の活動水準を volume (activity level、操業度) というが、volume は application base の総量によって測定するのが一般的である。

(4) Factory overhead の予定配賦

Factory overhead の実際発生額を各 job order に application する方法を実際配賦、この とき計算される overhead rate (配賦率) を actual overhead rate (実際配賦率) という。 これに対して、予め決めておいた overhead rate を用いて application する方法を予定配 賦、このとき用いられる overhead rate を predetermined overhead rate (estimated overhead rate, budgeted overhead rate¹³予定配賦率) という。

予定配賦の手続一巡



41

¹³ 予算制度を採用する企業では、predetermined overhead rate の決定が予算編成においてなされる ため、これを budgeted overhead rate と呼ぶことがある。

Example 1-6

当社では job-costing を採用しており、factory overhead は direct labor hour に基づいて予定配賦している。

1. Predetermined rate の決定

翌年の見積りに基づいて、Predetermined overhead rate を算定する。

資料 1. 当年度(1/1~12/31)の見積データ

年間の direct labor hours は360,000時間、そのときの factory overhead 発生額は、\$10,800,000と見積られた。

Predetermined overhead rate : Overhead の見積り \$10,800,000 DLH の見積り 360,000 hours

= @\$30

Predetermined overhead rate は、その会計年度を通じて用いられます。

2. 配賦額の計算

各月の計算において、predetermined overhead rate δ を用いて各 job order に factory overhead δ application する。

資料2. 当期(1月)の生産実績

当期は、job order #101、#102、#103について生産作業をおこなった。それぞれの direct costs、direct labor hours、進捗状況は次のとおりである。

Job order	#101	#102	#103	Total
Direct materials	\$270,000	\$132,000	\$210,000	\$612,000
Direct labor costs	\$240,000	\$100,000	\$200,000	\$540,000
Direct labor hours	12,000hours	5,000hours	10,000hours	27,000hours
当月末における	完成	完成	生いた (人)	
進捗状況	引渡済	未引渡	製造途中	

なお、月初時点において work-in-process と finished goods の inventory は存在しなかった。

		#101		#102	#103	Total
Direct ma	terials	270, 00	0	132, 000	210,000	612, 000
Direct la	abor	240,00	0	100,000	200,000	540, 000
Factory over	erhead	360, 00	0*)	150, 000	300,000	810, 000#)
Tota	I	870,00	0	382,000	710,000	1, 962, 000
•	ob order # applied ov \$360, (erhead	=	Predetermin overhead ra @\$30		Job order #10100 application base 12,000 hours

3. 実際発生額の集計と配賦額との比較

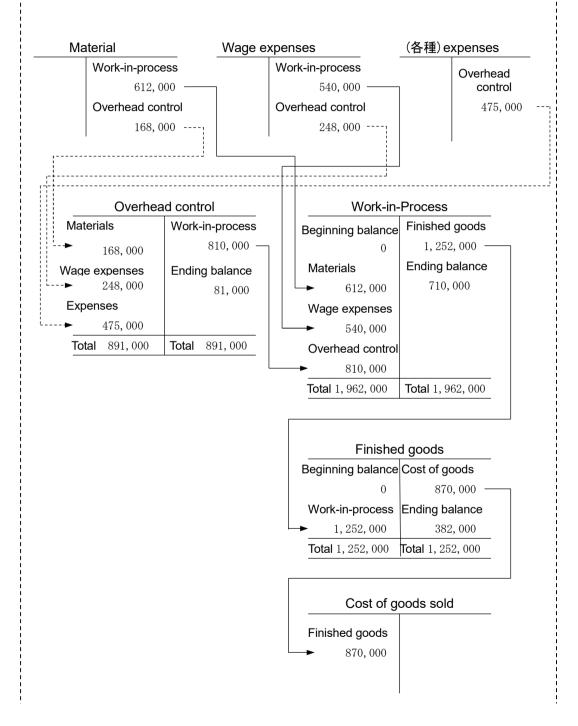
Predetermined overhead rate を用いて job order に application した overhead (Applied overhead) と実際発生額 (Actual overhead) の差を、overhead variance (製造間接費配賦差異) として把握する。

大小関係	意 味	名 称
Applied overhead \(\Lambda \) Actual overhead	実際発生額の一部し か製品に配賦できな かった(配賦不足)	Underapplied overhead (unfavorable variance:不利差異)
Applied overhead V Actual overhead	実際発生額以上の金額を製品に配賦した (配賦超過)	Overapplied overhead (favorable variance:有利差異)

資料3. Factory overhead	d の実際発生額
Indirect materials	\$168,000
Indirect labor	\$248,000
Indirect expenses	\$475,000
Total	\$891,000

Factory overhead applied	\$810,000
Factory overhead incurred	891, 000
Underapplied factory overhead	<u>\$ 81,000</u>

また、overhead control a/c を記入する際、debit には actual overhead、credit には applied overhead を記入する。Overhead variance は overhead control a/c σ ending balance として繰り越す。



4. 配賦差異の会計処理

各月に把握された overhead variance は、overhead control a/c 上で年度末まで繰り越される。この年度末の残高は、次のように処理する。

ケース	If the overhead variance is immaterial (差異の金額が重要でない場合)	If the overhead variance is significant (差異の金額が重要である場合)
処理	全額 cost of goods sold に賦課する	当年度の cost of goods sold、finished goods および work-in-process の ending balances に配賦する

資料4. 当年度の計算結果の要約

年間の cost of goods sold 合計 \$27,658,000 年度末における finished goods の残高 \$720,000 年度末における work-in-process の残高 \$372,000

年度末における overhead control a/c の残高 \$230,000 (underapplied)

(1) 差異の金額が重要でない場合

\$230,000の underapplied overhead \hat{v} cost of goods sold に対して加算¹⁴する。 その結果、最終的な cost of goods sold(Income statement に計上する cost of goods sold)は\$27,888,000(=\$27,658,000+\$230,000)となる。

(2) 差異の金額が重要である場合

cost of goods sold、finished goods および work-in-process の残高を用いて \$230,000 (underapplied) を按分すると、次のようになる。

	各 account の残高	Underapplied overhead
Cost of goods sold	\$27, 658, 000	\$221, 264
Finished goods	720, 000	5, 760
Work-in-process	372, 000	2, 976
Total	\$28, 750, 000	\$230,000

その結果、最終的な **cost of goods sold** は\$27,879,264 (=\$27,658,000+\$221,264) となる。

また、Balance sheet に計上される Finished goods は\$725,760 (=\$720,000+\$5,760)、Work-in-process は\$374,976 (=\$372,000+\$2,976) となる。

¹⁴ Overapplied の場合には、減算する。

<参考1-2> Denominator volume の決定

Predetermined rate を算定するための volume を Denominator volume といい、その決定方法には、次のようなものがある。

A. Theoretical capacity (理論的生産能力)

理論的に計算可能な最大操業度(theoretically maximum activity level)。この値は、 最高の能率でまったく中断されることなく操業することを想定しており、現実には達成不可能である。もっぱら実際的生産能力を計算する基礎として意味を持つ。

B. Practical capacity (実際的生産能力)

技術的に達成可能な最大操業度(practically maximum activity level)。いわゆるフル操業の状態。その値は、theoretical capacity から、機械の故障、修繕、段取などによる不可避的な操業度の減少分を差し引いて計算する(theoretical capacity minus unavoidable days-off, down-time, etc.)。

C. Normal volume (or capacity) (正常操業度)

販売量の増減による操業度の変化を長期的に平均化した水準で、生産能力の長期平均的な利用度を示す。その値は、将来の数年間にわたる販売予測に基づいて算定する (normal level based on average product demand over 4-5 years)。

D. Expected volume (期待実際操業度)

翌年に予想される操業度水準 (expected level for the next year) で、生産能力の短期的な利用状況を示す。その値は、翌年における販売予測に基づいて算定する。

[MEMO]

基本問題3

- (1) Lucy Sportswear manufactures a specialty line of T-shirts using a job order cost system. During March, the following costs were incurred in completing Job ICU2: direct materials \$13,700; direct labor \$4,800; administrative \$1,400; and selling \$5,600. Factory overhead was applied at the rate of \$25 per machine hour, and Job ICU2 required 800 machine hours. If Job ICU2 resulted in 7,000 good shirts, the cost of goods sold per unit would be:
 - a. \$6.50
- b. \$6.00
- c. \$5.70
- d. \$5.50
- (2) DJ Co. has a job-order cost system. The following debits (credits) appeared in the Work in Process account for the month of March:

March 1, balance \$ 12,000 March 31, direct materials 40,000 March 31, direct labor 30,000

March 31, manufacturing

overhead applied 27,000 March 31, to finished goods (100,000)

DJ Co. applies overhead at a predetermined rate of 90% of direct labor cost. Job No. 101, the only job still in process at the end of March, has been charged with manufacturing overhead of \$2,250.

What was the amount of direct materials charged to Job No. 101?

- a. \$2,250
- b. \$2,500
- c. \$4,250
- d. \$4,725
- (3) The appropriate method for the disposition of underapplied or overapplied factory overhead:
 - a. Is to cost of goods sold only.
 - b. Is to finished goods inventory only.
 - c. Is apportioned to cost of goods sold and finished goods inventory.
 - d. Depends on the significance of the amount.

【解答と解説】

(1) **(d)** 以下に示すように、この job order に集計された manufacruting costs は\$38,500 です。

Direct material : \$13,700 Direct labor : 4,800 Factory overhead : $$25 \times 800 \text{MH} = 20,000$ TOTAL \$38,500

よって、unit 当たりの COGS は、\$5.5 (= $\$38,500 \div 7,000$ 枚) となります。なお、selling と administrative は COGS には含まれません(period costs として処理されます)。

(2) (c) $\sharp \sharp$, work-in-process a/c \mathcal{O} ending balance $\iota \sharp 9,000 \circ \dagger$.

Work-in-process a/c

Beginning balance \$12,000	Finished goods	
Manufacturing costs \$40,000	\$100,000	
+\$30,000 +\$27,000	Ending balance \$9,000(差額)	

月末時点で、製造途中の job order はNo.101しかありませんから、No.101の manufacturing costs は\$9,000ということになります。

No.101に集計されている manufacturing costs の内訳は、

Direct material : \$? Direct labor : \$? Factory overhead : direct labor \times 90% = \$2,250 TOTAL \$9,000

となっているので、direct labor は\$2,500 (=\$2,250÷0.9)、direct material は、 \$9,000-(\$2,500+\$2,250)=**\$4,250** となります。

- (3) **(d)** Overhead variance の処理方法は、その金額的な重要性 (immaterial か significant か) によって異なります。
 - [(1)~(3)は Becker にある問題です。]

基本問題4

Alex Company had the following inventories at the beginning and end of the month of January.

	<u>January 1</u>	January 31
Finished Goods	\$125,000	\$117,000
Work-in-process	235,000	251,000
Direct materials	134,000	124,000

The following additional manufacturing data was available for the month of January.

Direct materials purchased	\$189,000
Purchase returns and allowances	1,000
Transportation in	3,000
Direct labor	300,000
Actual factory overhead	175,000

Alex Company applies factory overhead at a rate of 60 percent of direct labor cost, and any overapplied or underapplied factory overhead is deferred until the end of the year, December 31.

- (1) Alex Company's prime cost for January was:
 - a. \$501,000
- b. \$489,000
- c. \$201,000
- d. \$499,000
- (2) Alex Company's total manufacturing cost for January was:
 - a. \$681,000
- b. \$669,000
- c. \$671,000
- d. \$679,000
- (3) Alex Company's cost of goods manufactured for January was:
 - a. \$665,000
- b. \$689,000
- c. \$663,000
- d. \$687,000
- (4) Alex Company's cost of goods sold for January was:
 - a. \$681,000
- b. \$673,000
- c. \$657,000
- d. \$671,000
- (5) Alex Company's balance in factory overhead control for January was:
 - a. \$5,000 debit-overapplied.
 - b. \$5,000 credit-underapplied.
 - c. \$5,000 debit-underapplied.
 - d. \$5,000 credit-overapplied.

【解答と解説】

(1) (a) 以下に示すように、1月の Direct materials は\$201,000です。

Material a/c		
Beginning balance	Direct materials	
\$134,000	\$201,000	
Purchase \$189,000	(差額)	
Δ\$1,000	Ending balance	
+\$3,000	\$124,000	

よって、prime costs は**\$501,000** (=Direct materials\$201,000+Direct labor\$300,000) となります。

(2) (a) 以下に示すように、1月の Total manufacturing costs は\$681,000です。

Direct material: \$201,000

Direct labor: 300,000

Factory overhead : Direct labor $300,000 \times 60\% = 180,000$

TOTAL <u>\$ 681,000</u>

(3) (a) 以下に示すように、1月の Cost of goods manufactured は\$665,000です。

Work-in-process a/c

Tront in proceed are		
Beginning balance \$235,000	COGM \$665,000	
Mfg. costs \$681,000	(差額)	
	Ending balance \$251,000	

(4) **(b)** 以下に示すように、1月の Cost of goods sold は\$673,000です。

Finished goods a/c

I manea geeds a/e		
Beginning balance	COGS	
\$125,000	\$673,000	
COGM \$665,000	(差額)	
	Ending balance \$117,000	

(5) **(d)** 以下に示すように、1月の overhead control a/c の残高(overhead の配賦差異)は**\$5,000** credit-overapplied です。

Overhead control a/c

	oon a o	Overnous
	WIP	Actual
	\$180,000	\$175,000
> \$5,000 credit-overapplied		

[(1)~(5)は Becker にある問題です。]

[MEMO]

~ Vol.1 索引 ~

Α

Al., 1 4 f	Budgeted overhead rate
Absolute conformance	Budgeting
Absorption approach	Business process 272
Absorption costing	Business process management95, 273
Account analysis	_
Accounting Information System2	Business process reengineering
Activity	By-products
Activity center	
Activity cost driver	С
Activity level	
Activity-based budgeting(ABB)209	Capital budget200, 202
Activity-based costing(ABC)	Capital turnover
Activity-based management(ABM)95, 283	Cause and effect diagrams
Actual costing114	Coefficient of correlation
Actual overhead rate	Coefficient of determination
Allocation	Committed fixed cost
Application	Common costs
Application (allocation) base 40	Complete influence
Appraisal cost	Conformance cost
Attention directing 5	Conformance quality
Authoritative (or Top down) budgeting 210	Constant gross margin percentage net
Authoritative standards 120	realizable value method 106
	Continuous budget
В	Continuous improvement
5	Contribution approach
Back-flush costing	Contribution margin135, 179
Balanced scorecard(BSC)	Contribution margin ratio
Batch-level activity	Control charts
Benchmarking	Controllable costs
Best practice	Controllable fixed costs
Break-even point(BEP)	Controllable margin
Budget variance analysis	Controller2
Budgetary slack 210	Conversion costs
J = V = =========================	

Cost allocation to departments. 14	Cost accumulation	Efficiency variance116, 117, 118
Cost behavior 156 Equivalent Units 59 Cost centers 234 Equivalent Units of Production 59 Cost driver 156 Estimated overhead rate 41 Cost of driver 156 Expected volume 46 Cost objective(object) 15,77 Expenses 12 Cost of goods manufactured 25 External failure cost 286 Cost of goods purchased 11,24 12 12 Cost of goods sold 25 F F Cost pool 8 F 6 Factory burden 13 13 13 13 11	Cost allocation to departments 14	E-marketing263
Cost centers 234 Equivalent Units of Production 59 Cost driver 156 Estimated overhead rate 41 Cost function 162 Expected volume 46 Cost of goods purchased 25 External failure cost 286 Cost of goods purchased 11, 24 24 24 25 260 26 26 36 <td>Cost allocation to products 14</td> <td>Engineering analysis 160</td>	Cost allocation to products 14	Engineering analysis 160
Cost driver 156 Estimated overhead rate 41 Cost function 162 Expected volume 46 Cost objective(object) 15, 77 Expenses 12 Cost of goods manufactured 25 External failure cost 286 Cost of goods purchased 11, 24 Facility sustaining level activity 93 Cost of goods sold 25 F Cost of goods sold 25 F Cost of goods sold 25 F Critical success factors 260 Facility-sustaining-level activity 93 Currently attainable standards 120 Factory burden 13 Factory burden 13 Factory burden 13 Factory overhead 13 Factory overhead 13 Factory overhead 13 Failure cost 286 D Financial budget 202 Financial perspective 260 Financial perspective 260 Degree of completion 56 Fishbone diagrams 289 Degree of operating levera	Cost behavior	Equivalent Units 59
Cost function 162 Expected volume 46 Cost objective(object) 15, 77 Expenses 12 Cost of goods manufactured 25 External failure cost 286 Cost of goods purchased 11, 24 260 Factory burden 286 Cost pool 88 8 Factory burden 13 13 Factory burden 13 13 Factory overhead 13 Factory overhead 13 Failure cost 286 Partory overhead 13 Failure cost 286 Partory overhead 13 Failure cost 286 Partory overhead 13 13 Pailure cost 286 Pailure cost 286 Pailure cost 289 Pailure cost 289	Cost centers	Equivalent Units of Production 59
Cost objective(object)	Cost driver 156	Estimated overhead rate 41
Cost of goods manufactured 25 External failure cost 286 Cost of goods purchased 11, 24 11, 24 11, 24 11, 24 120	Cost function	Expected volume
Cost of goods purchased 11, 24 Cost of goods sold 25 F Cost pool 88 Critical success factors 260 Facility-sustaining-level activity 93 Currently attainable standards 120 Factory burden 13 Customer perspective 260 Factory overhead 13 Failure cost 286 286 D Financial budget 202 Financial perspective 260 Database marketing 262 Finished goods 23 Degree of completion 56 Fishbone diagrams 289 Degree of operating leverage(DOL) 187 Fixed costs 156 Delayed costing 281 Fixed overhead 81 Delayed costing 281 Fixed overhead 81 Departmental rate 74 Flexible budget 224 Departmental rate 74 Flexible budget variance 225 Design quality 285 Functionalized organization 235 Direct fixed costs <td< td=""><td>Cost objective(object)15, 77</td><td>Expenses</td></td<>	Cost objective(object)15, 77	Expenses
Cost of goods sold	Cost of goods manufactured	External failure cost
Cost pool 88 Critical success factors 260 Facility-sustaining-level activity 93 Currently attainable standards 120 Factory burden 13 Customer perspective 260 Factory overhead 13 Failure cost 286 286 D Financial budget 202 Financial perspective 260 Database marketing 262 Finished goods 23 Degree of completion 56 Fishbone diagrams 289 Degree of operating leverage(DOL) 187 Fixed costs 156 Delayed costing 281 Fixed overhead 81 Demand flow 283 Flexible budget 224 Departmental rate 74 Flexible budget variance 225 Dependent variable 165 Full costing 134 Design quality 285 Functionalized organization 235 Direct charge 34 G Direct fixed costs 153 General and administrative costs 111	Cost of goods purchased11, 24	
Cost pool 88 Critical success factors 260 Facility-sustaining-level activity 93 Currently attainable standards 120 Factory burden 13 Customer perspective 260 Factory overhead 13 Factory overhead 286 Pactory overhead 286 D Financial budget 202 Financial perspective 260 Financial perspective 260 Database marketing 262 Finished goods 23 Degree of completion 56 Fishbone diagrams 289 Degree of operating leverage(DOL) 187 Fixed costs 156 Delayed costing 281 Fixed costs 156 Department leverage(DOL) 187 Fixed costs 156 Departmental rate 74 Flexible budget 224 Departmental rate 74 Flexible budget variance 225 Direct charge 34 Functionalized organization 235 Direct fixed costs 153 General and administrative costs 111 </td <td>Cost of goods sold</td> <td>F</td>	Cost of goods sold	F
Currently attainable standards 120 Factory burden 13 Customer perspective 260 Factory overhead 13 Failure cost 286 286 D Financial budget 202 Financial perspective 260 Database marketing 262 Finished goods 23 Degree of completion 56 Fishbone diagrams 289 Degree of operating leverage(DOL) 187 Fixed costs 156 Delayed costing 281 Fixed costs 156 Delayed costing 281 Fixed overhead 81 Demand flow 283 Flexible budget 224 Departmental rate 74 Flexible budget variance 225 Dependent variable 165 Full costing 134 Design quality 285 Functionalized organization 235 Direct charge 34 G Direct fixed costs 153 General and administrative costs 11 Goalpost conformance 285	Cost pool	•
Currently attainable standards 120 Factory burden 13 Customer perspective 260 Factory overhead 13 Failure cost 286 286 D Financial budget 202 Financial perspective 260 Database marketing 262 Finished goods 23 Degree of completion 56 Fishbone diagrams 289 Degree of operating leverage(DOL) 187 Fixed costs 156 Delayed costing 281 Fixed costs 156 Delayed costing 281 Fixed costs 156 Demand flow 283 Flexible budget 224 Departmental rate 74 Flexible budget variance 225 Dependent variable 165 Full costing 134 Design quality 285 Functionalized organization 235 Direct charge 34 G Direct fixed costs 153 General and administrative costs 11 Direct method 78 Goalpost conformance	Critical success factors	Facility-sustaining-level activity
Failure cost	Currently attainable standards 120	
Failure cost	Customer perspective	·
Financial perspective		Failure cost
Financial perspective	D	Financial budget202
Degree of completion 56 Fishbone diagrams 289 Degree of operating leverage(DOL) 187 Fixed costs 156 Delayed costing 281 Fixed overhead 81 Demand flow 283 Flexible budget 224 Departmental rate 74 Flexible budget variance 225 Dependent variable 165 Full costing 134 Design quality 285 Functionalized organization 235 Direct charge 34 34 34 Direct costs 12 4	_	
Degree of operating leverage(DOL) 187 Fixed costs 156 Delayed costing 281 Fixed overhead 81 Demand flow 283 Flexible budget 224 Departmental rate 74 Flexible budget variance 225 Dependent variable 165 Full costing 134 Design quality 285 Functionalized organization 235 Direct charge 34 34 Direct costs 12 34 Direct fixed costs 153 General and administrative costs 11 Direct method 78 Goalpost conformance 285 Discretionary fixed costs 166, 209 36 Divisionalized organization 235 35 Dual method of allocation 81 4 High-low method 163 Hurdle rate 242 Earnings before interest and taxes 187	Database marketing	Finished goods
Delayed costing 281 Fixed overhead 81 Demand flow 283 Flexible budget 224 Departmental rate 74 Flexible budget variance 225 Dependent variable 165 Full costing 134 Design quality 285 Functionalized organization 235 Direct charge 34 34 34 Direct costing 134 34	Degree of completion 56	Fishbone diagrams
Demand flow 283 Flexible budget 224 Departmental rate 74 Flexible budget variance 225 Dependent variable 165 Full costing 134 Design quality 285 Functionalized organization 235 Direct charge 34 34 Direct costing 134 34 Direct costs 12 12 Direct fixed costs 153 General and administrative costs 11 Direct method 78 Goalpost conformance 285 Divisionalized organization 235 14 Dual method of allocation 81 High-low method 163 Hurdle rate 242 Earnings before interest and taxes 187	Degree of operating leverage(DOL) 187	Fixed costs 156
Departmental rate 74 Flexible budget variance 225 Dependent variable 165 Full costing 134 Design quality 285 Functionalized organization 235 Direct charge 34 34 Direct costing 134 34 Direct costs 12 12 Direct fixed costs 153 General and administrative costs 11 Direct method 78 Goalpost conformance 285 Divisionalized organization 235 166, 209 Divisionalized organization 235 16 Dual method of allocation 81 High-low method 163 Hurdle rate 242 Earnings before interest and taxes 187	Delayed costing	Fixed overhead81
Dependent variable 165 Full costing 134 Design quality 285 Functionalized organization 235 Direct charge 34 Direct costing 134 Direct costs 12 Direct fixed costs 153 Direct method 78 Discretionary fixed costs 166, 209 Divisionalized organization 235 Dual method of allocation 81 E High-low method 163 Hurdle rate 242 Earnings before interest and taxes 187	Demand flow	Flexible budget224
Design quality 285 Functionalized organization 235 Direct charge 34 Direct costing 134 G Direct costs 12 Direct fixed costs 153 General and administrative costs .11 Direct method 78 Goalpost conformance .285 Discretionary fixed costs .166, 209 Divisionalized organization 235 H Dual method of allocation 81 High-low method .163 Hurdle rate 242 Earnings before interest and taxes 187	Departmental rate	Flexible budget variance 225
Direct charge	Dependent variable 165	Full costing 134
Direct costing	Design quality	Functionalized organization235
Direct costs	Direct charge	
Direct costs	Direct costing	G
Direct method	Direct costs	G
Direct method 78 Discretionary fixed costs 166, 209 Divisionalized organization 235 Dual method of allocation 81 High-low method 163 Hurdle rate 242 Earnings before interest and taxes 187	Direct fixed costs	General and administrative costs11
Discretionary fixed costs	Direct method	
Dual method of allocation	Discretionary fixed costs166, 209	•
Dual method of allocation	Divisionalized organization	Ц
E Hurdle rate 242 Earnings before interest and taxes 187	Dual method of allocation 81	П
E Hurdle rate 242 Earnings before interest and taxes 187		High-low method 163
Earnings before interest and taxes 187	E	
	_	
Economic value added(EVA)246	Earnings before interest and taxes 187	
	Economic value added(EVA)246	

7	Management Compensation	267
I	Management process	2
Ideal standards120	Managerial accounting	1
Imputed rate	Manufacturing costs	11
Incentive compensation	Margin of safety	186
Incremental budgeting	Marginal profit	138
Independent variable	Marketing practice	262
Indirect costs	Master budget	200
Initiatives	Master budget variances	222
Internal business process perspective 261	Materials / Material costs	12
Internal failure cost	Maturity matching	6
Inventory	Method of least squares	164
Investment centers 234	Minimum desired rate of return	243
investment centers	Mixed cost	157, 160
	Multilevel marketing	263
J	Multiple regression	164
Job (order) costing	N	
Job order		
Joint costs	Net realizable value(NRV)	104
Joint products 101	Network Marketing	265
Just-in-time(JIT)	Non value adding activity	
	Nonconformance cost	
K	NOPAT	
	Normal Costing	
Kaizen	Normal range of volume	
	Normal volume	
L		
	0	
Labor costs	O	
Lean manufacturing	Off-shore operations	277
Learning and growth perspective 261	Operating budget	
Learning curve	Operating Expense	
Long-range plan	Operating leverage	
	Outsourcing	
M	Overapplied overhead	
•••	Overhead variance	
Main products	Overmean variance	40
Management accounting 1		
Management by exception 122		

D	Relationship marketing	262
Р	Relevant range of activity	161, 168
PAF approach	Required capacity	81
Pareto diagrams	Required rate of return	242
Partial productivity ratios(PPRs)	Residual income(RI)	243
Participative budgeting	Resource cost driver	92
Participative standards	Responsibility accounting	240
Perfection standards 120	Responsibility center	234
	Responsibility segments	234
Period costs	Return on investment(ROI)	242
	Return on sales	242
Practical capacity	Revenue centers	234
Predetermined overhead rate	Revolving budget	201
Prevention cost	Rework	63
Previous department costs	Rolling budget	201
Price variance		
Prime costs	S	
Process costing	G	
Process metrics 273	Sales activity variances	225
Product costing10	Sales volume variances	
Product costs	Sales-mix	
Production department	Scatter-graph method	162
Production volume variance	Scorekeeping	
	Segment	
Productivity	Segment margin	
Product-sustaining-level activity	Selling costs	
Profit centers	Semi-fixed costs	
	Semi-variable costs	
Q	Sensitivity analysis	
	Separable costs	
Qualitative measures	Service department	
Quality costing	Shared service	
Quantitative measures	Significant influence	
Quantity variance116	Simultaneous equations method.	
	Single method of allocation	
R	Single regression	
	Six sigma	
Rate variance117	Spending variance	
Reciprocal method 80		
Regression analysis	Split-off point	
	Spoilage	63

Standard costing114	Uncontrollable fixed costs	241	
Static budget	Underapplied overhead	43	
Statistical quality control	Unit cost of product	10	
Step cost	Unit-level activity	93	
Step-down method	Untraceable fixed costs	241	
Strategic business unit(SBU)	Usage of service	81	
Strategic plan 200	Usage variance	116	
Support activity			
	V		
Т	·		
	Value adding activity	95, 283	
Theoretical capacity	Variable budget	224	
Theory of constraints(TOC)	Variable cost ratio	181	
Throughput	Variable costing 13		
Total costs11	Variable costs	156	
Total productivity ratios(TPRs)	Variable overhead	81	
Total quality management(TQM) 287	Visual-fit analysis	162	
Traceable fixed costs	Volume	40, 156	
Tracing	Volume-related allocation base	89	
Traditional costing			
Transaction marketing	W		
Transfer pricing	••		
Transferred-in costs	What-if analysis	185	
Treasurer 6	Work-in-process		
U	Z		
Uncontrollable costs	Zero-based budgeting(ZBB)	209	

《単位認定試験について》

講義終了後、単位認定試験を受験する方にPre-Testをご用意しております。Pre-test とは、ご自身が単位認定試験の合格レベルに達しているかを確認していただくためのツールです。

掲載されている問題は、単位認定試験の出題傾向をもとに構成されています。単位認定試験は、必ずしもCPA試験に出題される範囲と一致しません。したがいまして、一部問題につきましてはTACテキストで扱わない内容を含む可能性があります。(しかしながら、TACテキストだけであっても、しっかりと勉強していただければ合格点は取れる内容となっております。)

こうした問題にふれるためにも単位認定試験をお申し込みいただく前に必ずSelf-Eval uation Pre-testを実施してください。なお、Self-Evaluation Pre-testの各科目の問題は、すべて「受講生情報サイト」にございます。以下のURLにアクセスし、ご参照ください(ご登録が必要です)。

http://www.cpa-tac.com/us/

「受講生情報サイト」→「単位取得ガイド」→「プレテストライブラリ」

※ 最新問題や変更点等は随時「受講生情報サイト」にアップ致します。必ず「受講生情報サイト」をご確認ください。

皆様のご成功を講師・スタッフ一同、心よりお祈りしております。

TAC米国公認会計士講座

Managerial Accounting & Financial Management - Text Vol.1

2021年4月9日 初版初刷発行

編 者 TAC 米国公認会計士講座

発 行 者 多田敏男

発 行 所 TAC 株式会社

₹101-8383

東京都千代田区神田三崎町3-2-18

印刷・製本 株式会社 日興印刷

落丁・乱丁本はお取り替えいたします。

本書は、「著作権法」によって、著作権等の権利が保護されている著作物です。本書の全部または一部につき、無断で転載、複写されると、著作権等の権利侵害となります。上記のような使い方をされる場合には、あらかじめ小社宛許諾を求めてください。

Printed in Japan

Ver. 4 テキスト
for the USCPA Exam

Managerial Accounting(MA) & Financial Management (FIN) Vol.1





